

小島地区ふれあいセンターだより



令和6年9月 第411号 運営委員会発行

愛宕3丁目10-2 電話826-7703



9月の行事予定

※毎週月曜日は休所日です。

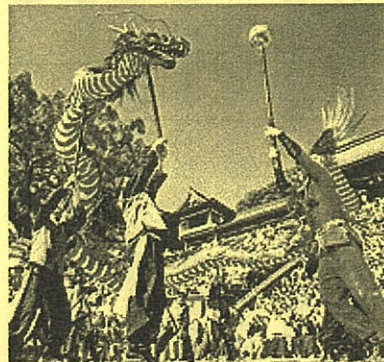
開催日	行事名	
3日(火)	小島地区ふれあいセンター運営委員会	午前10時～11時
4日(水)	すこやか運動教室(生涯元気事業)	午前10時～12時
6日(金)	子育て教室	午前10時～11時30分
10日(火)	小島中学校区青少年育成協議会	
11日(水)	小島愛宕地区老人連合会定例会議	午前10時～11時
18日(水)	すこやか運動教室(生涯元気事業)	午前10時～12時
25日(水)	小島地区連合自治会連絡会議	
28日(土)	小島地区民生委員児童委員協議会定例会	午前10時30分～12時

【お知らせ】

「長崎くんち 今年の見どころ」(主催講座)開催の御案内

日時 9月28日(土) 午前10時～12時
場所 小島地区ふれあいセンター 第1研修室
内容 今年の「長崎くんち」の出し物を紹介していただき、見どころについて分かりやすい解説や、神輿守・お下り・お上りなどに関するお話しをしていただきます。
講師 土肥原 弘 久 先生(元長崎市長崎学研究所長・KTNテレビ長崎 くんち解説者)
受講料 無料
申込先 小島地区ふれあいセンター(電話095-826-7703)
申込方法 直接来所、電話による申込み(午前10時～午後4時30分、月曜日を除く)
申込日 9月1日(日)～9月26日(木)

皆様のご参加をお待ちしています!!



出島⑥
○旧石倉(考古館) 安政6年(1859)に出島オランダ商館が閉鎖された後の建物です。(2階建ての石造倉庫) 昭和31年(1956)に残っていた礎石の上に古写真等を参考に、倉庫の半分を復元し、更に平成8年(1996)に整備復元した倉庫。西洋の当時の陶磁器の展示が行なわれています。

●再び江戸時代のエリア
○組頭(くみがしら)部屋・銅蔵 部屋に入ったところに銅を溶かした高炉跡があります。銅の補修に利用したものです。その横に天秤量りが置かれています。分銅と重さが合わないとならない商売の原則です。
1階の倉庫は、棹銅の箱詰めが置かれています。(1箱60kg) 大阪から運ばれています。 2階は、天井高が普通の倍くらいあります。 鮫皮を保管した場所です。(刀の柄に利用)。

○乙名詰所 幕府によって建てられた建物。貿易がない時期(冬から春)に出島を管理する「出島乙名」が駐在する場所。(間口4間、奥行4間半)
○十四番蔵 元々は砂糖蔵。表門橋の遺構等を展示・紹介しています。
○十六番蔵 輸入品の「丁子」(香辛料)を保管していた土蔵。(間口2間、奥行5間)

○筆者蘭人部屋 オランダ商館員書記役の住まい。長屋のような横長の建物(間口8間、奥行5間) この建物は内部模型が残っていない為、展示室として活用されています。 テーマ「つながる出島」。世界や日本各地と出島がつながっていた様子を映像や資料、グラフィックパネルで紹介しています。

○用水池 火災に備えられた、間口1間半、奥行4間の用水池。(2.7m×7.2m) 中央部に長方形の枡を持つ二重構造となっています。

○時鐘 「メイザン」の名で多くの資料に見られます。位置は立て替えるごとに移動しています。紐を引いて鳴らす西洋式の鐘。18世紀のオランダで実際に用いられた物です。

次は出島⑦



ミニ出島

ふれあい俳壇

懐深き梅雨の唐寺施粥釜	永福倫子
水打つて昭和百年たまご焼	許斐洋子
川風のパタリと止むで熱帯夜	園田洋子
谷戸の街暮れゆくまに蟬の声	立木由比浪
片陰に先客万来猫集ふ	田中怜子
雷鳴や目を怒らす順風耳	田原より子
赤寺の赤の溶け出す終ひ梅雨	辻原晩夏
順風耳はや梅雨明の雷を聴く	朝長美智子
梅雨荒れて唐寺訪ふもまた良かれ	並川友子
赤寺と呼んで親しむ梅雨最中	松永美記子
俱会一処心に刻み盆供養	村川雅代
競渡今意地と誇りの權さばき	山本松子
寺といふ法の器や青芭蕉	簗先四十三

※ふれあい俳壇は、小島地区ふれあいセンターで活動されているグループ(若芽の会・湾長崎支部岬会)の皆さんの作品です。

流刑地としての五島(五)

延宝七年、延宝八年、天和二年、元禄十四年についての流刑について見てみよう。

・延宝七年(一六七九)

八月二十九日、長崎奉行 岡野孫九郎の書状を以て、長崎の町司 吉永甚平、伴君平が長崎を出港し、九月五日に流人を送ってきた。福江の戸楽にて有川金兵衛、築瀬善太夫らが、流人を四人受け取った。町司は直ちに帰航した。この四人であるが『犯科帳』『五島編年史』に合致するのは次の二人。

長崎酒屋町 白木久兵衛弟九左衛門(唐内通事か) 三井楽におかれる。

船津町 奈良屋次左衛門借屋柴田平助は長崎からの仕送りがあるということで、福江町に宿することが許可され、町乙名塩塚長左衛門に預けられる。

あと二人は『五島編年史』に記載されている者である。

東浜町 吉左衛門俵腹巻次郎助は、宇久島におかれる。

新紙屋町 安田九左衛門女房の実子勘左衛門は不覚悟の者で、親・親類の願いにより、色摩権太夫の願いにより、二十日権太夫が預かる。

五島への流人は、長崎から町司が送ることもあったが、長崎港で五島の役人に渡すこともあった。又、本来、五島への流人は『犯科帳』に記載されているべきであるが、載っていないということは、『犯科帳』は後の世に編集されたものであると云える。

流刑地としての五島(六)

・延宝八年(一六八〇) 先年、長崎より流人としてきた高木作十郎、七月十四日に赦免があり、勝手に帰るよう言い渡された。作十郎は、長崎町年寄 高木彦右衛門の子で、五島にて手厚く保護されている。帰るにあたって彦右衛門より、妻子ともに長崎に召し寄せることが許されている。次男は、五島にて町人となった。長崎帰帆には、彦右衛門の家来 深見金左衛門仕立ての船で、八月二十八日出船した。のち作十郎は法体となり見塚と改めた。この年十一月十日、五島盛暢の入部祝いのため、福江に来て石摺二冊を進上し、城内桜の間にて御目見えしている。長崎町年寄の当時における絶大的な力を垣間見ることができ。長崎出来大工町 金子作兵衛、斬罪のところ、法王崩御のため恩赦により流罪となった。(犯科帳記載) 小川町浜武久兵衛(犯科帳記載なし)。この二人の場合は、閏八月十八日受取りのため有川金兵衛、平田忠兵衛らが長崎に向かっている。天和二年(一六八二) 長崎流人駆落ち始末久賀田の浦におかれていた伊右衛門は、小舟を盗み、戸岐を経て長崎瀬崎に逃亡。この島抜けは三月十五日、坪内角右衛門をもって長崎奉行に注進し、田の浦を視察している中、長崎にて捕えられたとの報があった。伊右衛門は知合いの伝兵衛を通じて第三左衛門に会うための仲介をしたが、弟は、このことを奉行所に注進したため、伊右衛門は捕えられた。第三左衛門には咎めがなく、乗り渡ってきた船を下渡され、弟に逢わせた伝兵衛は十里四方追放、伊右衛門は死罪となった。

図書室・児童図書館のご案内



小島地区ふれあいセンターには、図書室と児童図書館があります。
図書室の蔵書は約 7,500 冊で、児童図書館の蔵書は約 3,300 冊です。
図書室及び児童図書館は、例年、延べ約 4,500 名の方に、ご利用いただいています。
図書室には「新着図書コーナー」や、長崎の歴史や文化について学ぶことができる
「郷土史コーナー」を設けております。

～読書、勉強、新聞の閲覧など、お気軽にご利用ください～

〈図書室・児童図書館からのお知らせ〉

- ・ 図書室・児童図書館を利用できる時間は、9時から16時30分までです。
- ・ 長崎市立図書館と、ネットワークで繋がっています。
- ・ 所蔵本の貸出は、1人10冊まで、貸出期間（返却期限）は2週間です。
- ・ 他館で借りた本も返却が出来ます。
（但し、CD・DVDの貸出・返却は、長崎市立図書館のみです。）
- ・ 返却期限を過ぎたり、予約が入っている時は、継続貸出（貸出している本を同じ利用者が続けて借りること）が出来ません。
- ・ 返却期限から30日を過ぎると、貸出、予約、リクエストが出来ません。
- ・ 読みたい本の予約や、リクエストの受付・受取ができます。
- ・ 予約本やリクエスト本の取り置きは、ご本人に伝達後、1週間です。
- ・ 新規の図書貸出券（図書カード）の作成、更新、住所変更等が出来ます。
- ・ 寄贈本の受付ができます。（詳細については、事務室までお尋ねください。）
- ・ 「はじめまして絵本事業」の絵本を受け取れます。



図書室(1階) 103 m²
蔵書 約 7,500 冊



児童図書館(1階) 48 m²
蔵書 約 3,300 冊